あいざき佐和子

相崎さわこ
ニュース

受賞
マニフェスト大賞

議長
第61代 伊丹市議会

124号

とどける！ かなえる！ あなたの声を！

Profile

【生まれ】1973年3月

【学　歴】私立親和中学・女子高校
（中学受験して神戸の中高一貫の女子校へ）
国立奈良教育大学・大学院
（国立大学の水泳部で青春。大学院は政治学ゼミ）

【職　歴】アナウンサー（フリーアナウンサー → 地元ケーブルテレビアナウンサー）
第12代兵庫県広報専門員
（県広報TV番組など企画から出演まで）
伊丹市議会議員（3期）第61代議長
兵庫県議会議員（1期）

【役　職】出産議員ネットワーク 関西ブロック代表
ローカル・マニフェスト推進連盟 前共同代表
（全国約800名が加盟　早稲田大学マニフェスト研究所と連携）

【受賞歴】第11回全国マニフェスト大賞　優秀賞（個人）
第16回全国マニフェスト大賞　グランプリ（団体）

【資　格】教員免許（小学校・中学校社会・高校地理歴史）

【家　族】夫・長女（高2）・次女（中1）

【その他】健康状態良好（中学・高校と皆勤）

合同演説会

予約不要

相崎が仲間の議員とともに、強い想いと進める政策をアツく語ります。ぜひ足をお運びいただき、私たちの魂の訴えをお聞きください。心よりお待ちしています！

日時

2023年3月24日（金）18：30～19：30

場所

東りいたみホール 6階 中ホール

参加メンバー（予定）

- 桜井シュウ（衆議院議員）
- あいざき佐和子（前兵庫県議）
- 保田けんじ（伊丹市議）
- やまぞの有理（伊丹市議）
- おおつる求（伊丹市議）
- 岸田まさと（伊丹市議）
- 高橋あこ（伊丹市議）

連絡先

あいざき佐和子（相崎さわこ）
〒664-0858　伊丹市西台5-1-11
(072)768-9260　(072)768-9261
sawako.aizaki@gmail.com

質問にお答えします

「あなたの声を とどける! かなえる!」をモットーに、日々お声をお聞きして回っています。
課題や政策を多くお聞き、感謝の限りです。（122号・123号に回答を記載しています）
同時に、私自身についてのご質問をいただくことも。そこで今回は、それらにお答えさせていただきます。

Q なぜ政治家を目指したのか?

妊娠出産の時に仕事を雇止めになり、大変困りました。

その経験から、私のように人生の様々なステージで理不尽な思いをしている方や困難を抱えている方が多くいるのではないか?そんなことがない社会にしたい!と思い、議員になろうと決意しました。

したがって、私のモットーは、一貫して「あなたの声を とどける! かなえる!」です。

Q 伊丹市議・兵庫県議として、力を入れて取り組んだことは?

伊丹市議時代は、住みやすい街を目指して、子育て支援（待機児童解消など）、教育（学力向上、特別支援教育）、介護（施設の拡充）、防災などに取り組みました。

具体的な取組みで反響が大きかったのは、病児保育の充実・親子スペースの増加・中学生の重い荷物の軽減・ミニ防災マニュアルの全戸配布・自転車条例の策定などです。

兵庫県議時代は、コロナ対策に奔走した他、財政健全化に力を入れ、財政指標の改善や信号灯器のLED化（電気代を8割以上カット）を実現しました。

政策実現は相崎1人ではなく多くの方のお力あってこそですが、相崎の提案が実現に貢献できたと認識しています。

Q 昨年は参院選に出ましたよね?

私たちの声を国に届けたい!と一大決心して、昨夏に参議院議員選挙に臨みました。

しかし力不足で結果を出せず、自分はまだまだだと深く反省しました。

でもどうしてもみなさまの声を政治の場にとどけてかなえたい。初心にもどって地域のお声をとどけることからやり直すんだ、と一から出直す気持ちです。

Q「マニフェスト大賞を受賞」とは何ですか?

「マニフェスト大賞」は、“政策の甲子園”と呼ばれる日本最大の政策コンテストです。

2016年に個人で優秀賞（マニフェストの市民へのフィードバック）、2021年に団体で日本一（法律と規則の改正実現）を受賞しました。

また、コンテストの実行団体であるローカルマニフェスト推進連盟（議員約800人加盟）の共同代表を4年間つとめました（川西市の越田市長から引き継ぎました）。

経験を活かしてこれからも、政策本位の政治を進めます。

Q「あいざき佐和子ニュース」がポストに入っていました

政治家になって16年間、基本的に年4回以上、伊丹市内の全戸のポストにお届けしてきました。

この号で124号になります。取り組みや成果をお伝えすることも、政治家の大事な役割です。引き続きご覧いただければ幸いです。

兵庫県政

あいざき佐和子はこれをやる！

あいざき佐和子はこれをやる！ 1

“子どもを産み育てる” なら兵庫！ ～子育て・教育～

私は２人の子どもがいますが、１人目は出産時に雇止め、２人目は保育所の待機児童になりました。こんな状況で安心して子どもを持つことができるでしょうか。望む若い方々が安心して子どもを産み育てる仕組みを整備します。

未来に担う子どもたちが、個性や能力を十二分に発揮できるよう、教育環境を充実させます。力を尽くしてくださっている教職員のバックアップに取り組みます。

- 妊娠出産育児の一貫支援
- 児童虐待の防止
- こども食堂の支援
- スクールソーシャルワーカーなどの拡充
- 特別支援教育の充実
- 部活動指導の地域移行
- 高校の授業料補助の拡充

あいざき佐和子はこれをやる！ 2

“長生きする” なら兵庫！ ～介護～

高齢化が進む中、介護の需要がますます高まります。ご高齢の方が安心して長生きができる仕組みを早急に充実させなければなりません。

施設の入所を希望するも空き待ちという「待機高齢者」を解決するための早急な施設整備、介護に従事してくださる人材不足を補うために給料アップと処遇改善、介護離職を解消するための働き方改革などに取り組みます。

- 高齢者施設の拡充
- 介護従事者の処遇改善
- 介護人材の養成の強化
- 介護離職の防止
- 地域包括ケアシステムの充実
- フレイルや認知症の予防事業の充実

あいざき佐和子はこれをやる！ 3

“安心して暮らす” なら兵庫！ ～医療～

新型コロナウイルス感染症で医療保健体制の様々な課題が浮き彫りになりました。withコロナの今後、経験と教訓を活かして医療保険の体制を改めて盤石にしなければなりません。

コロナ前の地域医療構想（2016年兵庫県策定）を早急に見直し、安心と信頼の医療体制を再構築します。

新しい市立伊丹病院は兵庫県として財務的技術的に支援を進め、近畿中央病院は跡地の医療機関誘致を進めます。

- 医療保健体制の再構築
- 地域医療構想の見直し
- 保健所の抜本的見直し
- 新市立伊丹病院のバックアップ
- 近畿中央病院跡地の医療機関誘致
- がん対策等の推進

「あいざき佐和子」 その他の政策はホームページをご覧ください！

17年前、出産の時に仕事を雇い止めになりました。大変ショックで困った経験から思いました。人生の様々なステージで、私のように不条理な想いや状況を抱えて苦しんでいる人が多くいるのではないか。そんな人がいない社会にしたい！　強い想いで議員になったのが16年前です。

それから伊丹市議会12年、兵庫県議会3年、力を尽くしてきました。一貫した想い"不条理に苦しむ人がいない社会に！"を軸に、様々に声をあげて取り組んできましたが、未だ道なかば。まだまだ変えていかねばならないことが山積です。

出産時の雇い止め、実は自分のせいだと思って公表していませんでした。でも改めて考えたのです。私のように、自分のせいだと思って不条理にたえておられる方が多くおられるのではないか。私は声を大にして言いたいです。

"それはあなたのせいじゃない！政治が解決すべき課題なんです！"

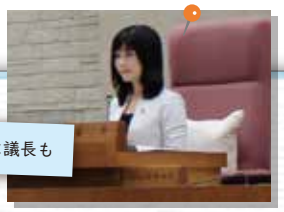
私はどうしても政治の場にあなたの声をとどけたいんです、かなえたいんです。

他のだれでもない、私たちの声。一緒に声をあげましょう！

とどける！かなえる！あなたの声を！　　あいざき佐和子

これまでの活動

兵庫県広報専門員として県内を取材（写真は佐用町）


市議会では議長も

「出産議員ネットワーク」で関西ブロック代表、全国の仲間の議員と活動も

全国マニフェスト大賞受賞

市議会議員・県議会議員を15年

地域活動も精力的に

10年以上続けている「サワコの茶話会」

情報どんどん発信中！

もっと情報をお届けしたい、もっとお声をお聞きしたい。その思いから、様々な方法で情報を発信しています。
皆様に情報が届き、お声を聴かせていただくことができれば嬉しい限りです。

LINE@　ホームページ　Facebook　Twitter　Instagram　YouTube

メールマガジン 相崎佐和子レター
親しい方に手紙をお送りする気持ちで書いています。
登録方法
左記の連絡先までメールアドレスをお教えください。メルマガ登録します。

活動ニュース
バックナンバーは左記HPに。
郵送希望はご連絡を